

豆狸の寝言

副会長 三原幸二

孫達との夕食を終えての帰り、退社時間はとうに過ぎていたので、車内はさほど混んではいなかった。

二つ目の停留所で一人の老人が乗ってきた。歳のせいから少しすり足気味に歩きながら開口一番、「兄ちゃん、悪いけど席代わってくれへんか」と、大きな声で言った。

私の横で携帯電話をいじくっていた青年が無言で又一っつつ立った。老人はさも当然のように礼の言葉もなく座っている。いやな雰囲気は漂った。

又一っつつ立った青年はおっとりして何事もなかったような顔をしていたが、内心は穏やかではなかったはずである。携帯をいじくっていなければ、その老人から言われるまでもなく席を立っていたかも知れない。そんな感じの青年である。老人もみたところ私とそんなにかわらない年齢のように見えた。



人に頼む時は、頼み方も少しは考えてみる必要があるのではないだろうか。「悪いけど」という枕詞をつければ何を言っても何をしても良いというものではないと思うが如何だろうか。

朴訥な青年の好感度と年寄りを売り物にした同年輩を見て、可愛げのある年寄りになろうと言い聞かせたバスの車内での一瞬の出来事でした。

(バスの車内での出来事) 2008 年執筆

会報誌 **NewWave** へご寄稿のお願い

「New Wave」誌は、皆さまに身近な会報誌としてご愛読していただくことを目指しています。その第一歩として、読者の皆さまからのご寄稿を数多く掲載することを計画しています。一人で心の中にしまっておくには勿体ないような面白い話や為になる話。それに、地域のグルメ情報などジャンルは問いません。

ご寄稿は、メール・アドレス「zennichi@jeda.or.jp」へ、件名「寄稿」と記入の上、送信して下さいますようお願い致します。800～1000文字程度にまとめた文章に写真2～3点を添えていただければ幸いです。

各単組の組合員企業ならびに賛助会員企業の皆さまよりのお便りをお待ちしております。
全日本電設資材卸業協同組合連合会・広報委員会